

DISTRICT 2820 INTERACT CLUB



2022-2023年度 国際ロータリー 第2820地区

第25回

インターアクト年次大会報告

「World Peace Begins with Us」
～世界の平和は私たちから～

令和4年8月21日(日)

茨城キリスト教学園高等学校

ホストクラブ

茨城キリスト教学園高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ

日立港ロータリークラブ

主催

国際ロータリー第2820地区 インターアクト委員会

目 次

	ページ
アルバム	2
大会プログラム	8
主催者挨拶	
R I 第 2820 地区ガバナー	大野 治夫 9
日立港ロータリークラブ会長	山口 憲生 10
茨城キリスト教学園高等学校校長	ランドル W. ヴォス 11
R I 第 2820 地区青少年奉仕総括委員長	高田 稔美 12
R I 第 2820 地区インターアクト委員長	齊藤 佳昭 13
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長	和田 光 14
基調講演	15
異文化プレゼンテーション（外国人講師との討議）	16
参加者名簿	17
年次大会感想（抜粋）	21

Album



茨城キリスト教学園高等学校 ハンドベル演奏



ランドル W. ヴォス 茨城キリスト教学園高等学校校長



和田光 茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長



大野治夫 ガバナー



鈴木崇久 日立港ロータリークラブ会長エレクト



齊藤佳昭 地区インターアクト委員長



ジャコブ・ユリヤ Ph.D 基調講演講師



マルタ・イリョ 茨城キリスト教大学留学生



異文化プレゼンテーション 外国人講師



異文化プレゼンテーションの様子



川上美智子 地区青少年奉仕支援アドバイザー



次年度ホストクラブ挨拶 水城高等学校



日立オリジンパーク見学



日立オリジンパーク見学



参加者全員での記念撮影



水戸女子高等学校 IAC



水城高等学校 IAC



茨城県立水戸農業高等学校 IAC



つくば国際大学東風高等学校 IAC



茨城県立下館工業高等学校 IAC



茨城キリスト教学園高等学校 IAC

第 25 回 インターアクト年次大会プログラム

テーマ 「World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～」

＜午前の部＞

- 9:30～10:00 登録受付
- 10:00～10:40 開会式
開式の言葉
点 鐘
国歌斉唱
インターアクトソング斉唱
ハンドベル演奏
歓迎の言葉
来賓紹介
各スポンサークラブロータリアン紹介
各校インターアクトクラブ紹介
主催者挨拶
閉式の言葉
- 司会 茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 加藤 らら
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 石井なな美
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長 和田 光
- 茨城キリスト教学園高等学校校長 ランドル W. ヴォス
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長 和田 光
地区インターアクト委員長 齋藤 佳昭
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 幹事 大谷羽華音
RI 第 2820 地区 ガバナー 大野 治夫
日立港ロータリークラブ会長エレクト 鈴木 崇久
地区インターアクト委員長 齋藤 佳昭
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 石井なな美
- 10:40～10:50 休 憩
- 10:50～11:50 基調講演 演題 「ウクライナでの戦争を考える」
講師 茨城キリスト教大学 文学部
現代英語学科 講師 ジャブコ・ユリヤ Ph.D
茨城キリスト教大学 留学生 マルタ・イリヨ
司会 茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 加藤 らら
- 11:50～12:00 質疑応答 マイク担当 茨城キリスト教学園高等学校 IAC 片寄百合愛・河崎 杏奈
- 12:00～12:10 ローターアクト挨拶・ライラセミナー紹介
- 12:10～12:30 写真撮影（集合写真及び学校別 於：講堂）
- 12:30～13:10 移動・昼食

＜午後の部＞

- 13:10～14:40 異文化プレゼンテーション
「Toward World Peace: The First Steps ～異文化理解への第一歩～」
オプション活動 日立オリジンパーク見学 対象：ロータリアン
- 14:40～14:50 移動・休憩
- 14:50～15:00 講 評 RI第2820地区青少年奉仕支援アドバイザー 川上美智子
- 15:00～15:30 閉会式
開式の言葉
ホスト校挨拶
次年度ホスト校挨拶
閉式の言葉
点 鐘
- 司会 茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 加藤 らら
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 石井なな美
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長 和田 光
水城高等学校 IAC 会長 川端さくら
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 副会長 石井なな美
茨城キリスト教学園高等学校 IAC 会長 和田 光

第25回インターアクト年次大会によせて

国際ロータリー第2820地区
ガバナー 大野 治夫

国際ロータリー第2820地区、第25回インターアクト年次大会が、茨城キリスト教学園高等学校インターアクトクラブがホスト校となり開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

2820地区においては、全員、高校生がメンバーになっております。世界中の若者が奉仕という活動を通してリーダーシップを養い、世界平和と世界の文化・習慣を理解して行動出来る様、皆さんに私たちロータリアンは十分な労力と時間を惜しまず注いでまいります。

いま、コロナウイルス感染、自然災害、ウクライナ問題と、大変な世の中となっております。

また、いまだに水質汚染・貧困の問題も解決に至っておりません。

まだまだ解決には時間がかかるかも知れませんが、我々ロータリークラブはみんなが住みよい世の中になる様、奉仕活動を続けて行きます。

みなさんも今後、ローターアクト、ロータリアンとなり、私達とともに世の中の為になる奉仕活動をいっしょに手を取り行ってまいりましょう。

インターアクト年次大会

ホストインターアクトクラブスポンサークラブ
日立港ロータリークラブ会長 山口 憲生

歓迎の言葉

第2820地区インターアクトクラブの皆さん、本日はようこそ茨城県北の地
大みかにおいでいただきました。

また、大変お忙しい中、大野治夫ガバナー、中村澄夫青少年担当カウンセラーを
はじめ多くの皆様をお迎えして、第25回インターアクトクラブ年次大会を開催で
きますこと、ホストクラブのスポンサーである日立港ロータリークラブ会員一同、
心より歓迎申し上げます。

本年はロシアのウクライナ侵攻など世界平和が脅かされる中、「世界の平和は私た
ちから」をテーマに参加者がともに学ぶ大会です。約10年前の第15回大会は、
東日本大震災が発生した年であり、この同じ会場で「隣人を愛する」をテーマに学
びました。平和とは単に戦争のないことを意味しません。「平和」を大和言葉で言い
直すと「たいらかなやわらぎ」と読めます。なにか10年前の「隣人を愛する」に
通じるように感じるのは私だけでしょうか。

今年の国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は「イマジン ロータリー」
をテーマに掲げました。相手のことを想像し、自分に引き当てて考えてみる。イマ
ジンこそ私たちが行動を起こす基礎ではないでしょうか。どうか、今大会でともに
学んだ体験が参加者皆さんのこれからの生き方の礎(いしずえ)となることを期待し、
歓迎のあいさつとします。

ごあいさつ

茨城キリスト教学園高等学校
校長 ランドル W. ヴォス

第25回インターアクト年次大会が、多くの皆様とともに開催できますことをホスト校として心からお喜び申し上げます。

本校のインターアクトクラブは1979年に誕生以来、仲間とともに、地域に役立つボランティア活動などを通して、思いやりの心など豊かな人間性を育みながら、社会に貢献できる人間の育成を目指し活動してきました。

今回のテーマは「World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～」です。今年に入って世界の情勢は大きく変化しました。理不尽な暴力による侵略行為を連日のように目の当たりにして、心を痛めている人は本当に多いと思います。平和は実現されるのか？

そんな時、インターアクトクラブのボランティア精神はとても重要な意味を持てきます。インターアクトの歌を思い出してください。地域社会に奉仕の理想～さしのべよ手を、世界を結ぼう。

ボランティア精神とは、紐解いてみると、『それは、全ての人がみな等しく同じ魂を持ち、それを言葉にするならば、「愛」。他者が幸福であることを自らの幸福とし、そこにどんどん身を掛けること。』とあります。これは、平和への道筋に他なりません。私たちは平和に向けて歩みを始めることができるのです。

茨城キリスト教学園は戦後間もない1947年、キリスト教の隣人愛を基に、地域に貢献し、二度と戦争の起きない平和な世界を実現することを目標にして生まれました、この建学の精神は、インターアクトクラブの精神と一致しています。創設から75年が経過した今も、残念ながら世界に平和はもたらされていませんが、今日は自分たちに何ができるのか、見つめなおす機会となってくれることを祈ります。

インターアクト年次大会に寄せて

国際ロータリー第2820地区
青少年奉仕総括委員長 高田 稔美

このたび第25回インターアクト年次大会が茨城キリスト教学園高等学校のホストのもと、開催されますこと心からお慶び申し上げます。

日頃よりインターアクトクラブ関係者の皆様には、青少年育成のための奉仕活動やRYLAセミナーをはじめとする地区青少年奉仕委員会の活動に積極的に参画いただきまして深く感謝申し上げます。

インターアクトとは1962年に国際ロータリー理事会で採択された12歳から高等学校卒業までの青少年のための常設プログラムで、地域社会を支援するプロジェクト、および工区再理解を推進するプロジェクトを通じてリーダーシップのスキル向上をめざすところです。第2820地区では顧問の先生方の丁寧なご指導と提唱クラブの支援によりインターアクトクラブの活動が活発に行われてきました。現在6校のインターアクトクラブがコロナ禍においても工夫して活動されていることは、私たちロータリアンにとってもたいへん誇らしく刺激をいただいております。

今年度のジェニファー・ジョーンズRI会長のテーマ「IMAGINE」と大野治夫ガバナーのスローガン「enjoy life ～人生を楽しむ」を受けてインターアクトクラブの皆様には想像力を働かせ、時代の変化を受け止めて、世界と地域社会に貢献する未来の担い手として更なる活躍を願っております。

本日「World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～」のテーマで開催されますインターアクト年次大会が、その第一歩となり多くの奉仕の仲間が繋がる機会となりますようご期待申し上げます。

結びに、開催にあたりご尽力賜りましたホスト校の茨城キリスト教学園高等学校の皆様と提唱クラブの日立港ロータリークラブの皆様にご心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

国際ロータリー第2820地区
インターアクト委員長 齊藤 佳昭

第25回インターアクト年次大会が開催されますことを、主催者を代表して心より御礼申し上げます。また、今年度ホスト校の茨城キリスト教学園高等学校のランドル W. ヴォス校長先生をはじめとする顧問の新井先生および、インターアクトのメンバーの皆様、ならびにスポンサークラブの日立港ロータリークラブ、山口憲生会長をはじめとします関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、今年度のテーマは World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～となっております。講演は、茨城キリスト教大学 ジャブコ・ユリヤ講師（ウクライナのリヴィウ大学出身）演題は、「ウクライナでの戦争を考える」です。今、現実には起こっている戦争を知り、正面から向き合い・考え海外の諸国がどのように関わっているのか、各々が今出来る事は何かを考えたいと思います。

国際社会の一員としての個人という意味で、国を超えた社会貢献を行うことは、グローバル化するための近道なのではないかと考えます。奉仕を通じた国際的な交流から気づきを得て、世界で起きている様々な問題を知るとともに、物事を深く考えることにより、地球人としての自覚を深め、今後の人生において多くの学びを得るきっかけになれば大変うれしく思います。また、Toward World Peace: The First Steps ～異文化理解への第一歩～と題しまして、プレゼンテーションを行います。

今回もまた、たくさんの方々が集い、ともに学びつつ交流を深めることと思います。互いに刺激しあい尊敬しあえる関係を構築し、これからの素晴らしい活動につなげていける大会となることを確信しております。

結びに、関係各位の皆様インターアクトへの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。主催者の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

“Peace Begins Here!”

茨城キリスト教学園高等学校
インターアクトクラブ会長 和田 光

本日は、コロナ禍にもかかわらず、多数のご来賓の方々、ロータリアンの皆様、そして顧問の先生方とインターアクターにご出席いただきありがとうございます。また、大会のためにご支援して下さった、日立港ロータリークラブの皆様方に心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響による制限は未だにあるものの、少しずつボランティア活動ができるようになり、本校でも、コロナ禍前に定期的に行われていたこども園の訪問をはじめ、様々な活動ができるようになりました。そして第25回目のインターアクト年次大会をホスト校として開催することができ、大変嬉しく存じます。

今回のインターアクト年次大会のテーマは「World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～」です。昨今、新聞やテレビなどで取り上げられるウクライナ侵攻問題が話題となっています。本学園でも、ウクライナ人留学生への経済支援に関する募金活動を行っており、本校のインターアクトも活動に参加しました。今回は本学園の大学講師であり、ウクライナのリヴィウ大学出身のジャブコ・ユリヤ先生による基調講演「ウクライナでの戦争を考える」や、グループワークの「Toward World Peace: The First Steps ～異文化理解への第一歩～」でネパールやタイ、韓国といった国の異文化を理解し、「平和」についてより深く考えたいと思っております。では皆さま、本日はよろしく申し上げます。

基調講演

演題 「ウクライナでの戦争を考える」

講師 ジャブコ・ユリヤ Ph.D

茨城キリスト教大学文学部現代英語学科専任講師

ウクライナ西部・リヴィウ市出身。

イワン・フランコ記念リヴィウ国立大学で日本語学及び英語学を学び、同大大学院にて言語学博士号を取得。

専門は社会言語学。

現在、在日外国人の文化的アイデンティティを中心に研究している。

マルタ・イリヨ

茨城キリスト教大学留学生

イワン・フランコ記念リヴィウ国立大学出身

2022年3月 ウクライナより来日。

異文化プレゼンテーション（外国人講師との討議）

テーマ

「Toward World Peace: The First Steps ～異文化理解への第一歩～」

講師

朴 美貞（韓国）

ソウル生まれプサン育ち。韓国の大学院博士課程修了後、母校の大学で常勤講師を勤める。1990年に来日、筑波大学大学院の研究生として在籍。その後、同大学院博士課程に入学し、子育てをしながら博士号を取得。大学院修了後は、韓国語スクールで講師を務めるほか、（公財）茨城県国際交流協会外国人相談センター相談員、（一社）茨城県観光物産協会翻訳コーディネーターを経て、現在、営業戦略部 空港対策課主任として、茨城県のインバウンド事業に携わる。

ビエルナツカ・ヤマグチ イボナ（ポーランド）

ポーランド、ビドゴシチ出身。22歳の時来日し、24年間日本で生活している。小・中・高校生向けの異文化紹介を通し学生の皆さんとお話するのが大好きで、その活動は7年目となった。趣味は料理と家庭菜園。特に甘いものをよく作る。

ジュイジョンラック スナンター（タイ）

出身は、タイのペッチャブリー県。ニックネームはノイ。タイのプリンセスチュラポンサイエンスハイスクールを卒業し、2018年に日本の茨城工業高等専門学校に入学。今年5年生で、専門は化学・生物・環境系。

アディカリ プロヴァット（ネパール）

ネパール出身。2016年3月にガウリサンカル高等学校理科学科卒業。2018年4月に来日し、日本語学校に入学。2020年2月に日本語能力試験2級に合格し、同年3月に日本語学校を卒業。4月に常磐大学人間科学部心理学科に入学し、現在在学中。

ラスアナイヴ スアハニチャ ジェシカ（マダガスカル）

マダガスカルの首都アンタナナリボの出身。私立の小・中・高の一貫校に通う。高校卒業後、米国テキサス州のAbilene Christian University (ACU) で心理学を学ぶ。卒業後、OPT (Optional Practical Training) で、一年間 International Rescue Committee に勤務。2017年から茨城キリスト教学園中学校高等学校で英語の教師として教鞭をとる。

第25回インターアクト年次大会参加者名簿（学校関係）

水戸女子高等学校（水戸西ロータリークラブ）							
〒310-0041 水戸市上水戸1-2-1 TEL 029-224-4124 FAX 029-221-6660							
No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	鈴木 淑子	顧問	教諭	6	中村 好花	幹部	3年・女
2	石川 美颯	会長	3年・女	7	鈴木 優実	幹部	2年・女
3	江幡 奏那	副会長	3年・女	8	増田 穂佳	幹部	2年・女
4	渡 邊 彩	幹部	3年・女				
5	飯村 友香	幹部	3年・女				

水城高等学校（水戸ロータリークラブ）							
〒311-0804 水戸市白梅2-1-45 TEL 029-247-6509 FAX 029-248-3841							
No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	藤井 真智子	顧問	教諭	12	増田 大樹		1年・男
2	堀井 リカ	顧問	教諭	13	高橋 幸希		1年・男
3	豊田 大葵		1年・男	14	辰巳 瑠雅		1年・男
4	高根澤 龍輝		1年・男	15	中根 佳士		1年・男
5	磯野 佑		1年・男	16	川村 拓海		2年・男
6	田中 大暉		1年・男	17	森谷 夏実	副部長	2年・女
7	永井 遼太郎		1年・男	18	川端 さくら	部長	2年・女
8	藤田 翼		1年・男	19	秋山 友花		2年・女
9	吉成 あゆみ		1年・女				
10	道川 文慈		1年・男				
11	野村 啓太		1年・男				

茨城県立水戸農業高等学校（東海那珂ロータリークラブ）							
〒311-0004 那珂市東木倉983 TEL 029-298-6266 FAX 029-295-4780							
No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	桑名 伸夫	顧問	教諭	12	木村 永美琉		2年・女
2	廣原 美涼	会長	3年・女	13	小林 咲弥		2年・女
3	堀江 琉聖	副会長	3年・男	14	笹山 莉果		2年・女
4	鈴木 悠	副会長	3年・女	15	柴田 あけみ		2年・女
5	狩原 煌晟		3年・男	16	平山 瑠奈		2年・女
6	野村 匠牙		3年・男	17	中村 愛		1年・女
7	海老澤 空		3年・女	18	山縣 明華		1年・女
8	鈴木 ひな		3年・女	19	岩井 優妃		1年・女
9	天海 日菜香		3年・女	20	内海 梨紗子		1年・女
10	秋田 葉菜		2年・女				
11	菅野 美羽		2年・女				

つくば国際大学東風高等学校(土浦南ロータリークラブ)

〒315-0057 かすみがうら市上土田690-1 TEL 0299-59-7516 FAX 0299-59-7530

No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	菅野 詩	顧問	教諭	4	飯村 未希	2年・女	
2	関野 亜沙美	顧問	教諭				
3	福田 直美		2年・女				

茨城県立下館工業高等学校(しもだて紫水ロータリークラブ)

〒308-0847 筑西市玉戸1336-111 TEL 0296-22-3632 FAX 0296-25-4693

No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	池田 恭彦		校長	8	西村 佳将	3年・男	
2	山中 隆	顧問	教諭	9	石島 大夢	3年・男	
3	坂入 克則	顧問	教諭	10	長壁 帆海	3年・女	
4	深谷 麻衣	副会長	3年・女	11	川島 ひかり	3年・女	
5	飯山 佳太		3年・男	12	塚原 唯風	3年・女	副会長
6	石崎 康太		3年・男	13	臼井 陸人	2年・男	書記
7	富田 蒼心		3年・男				

茨城キリスト教学園高等学校(日立港ロータリークラブ)

〒319-1221 日立市大みか町6-11-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-53-9927

No.	氏名	役職	備考	No.	氏名	役職	備考
1	ランドル W. ヴォス		校長	17	富山 歩実		2年・女
2	金澤 邦博		事務長	18	吉澤 陽向		1年・女
3	新井 由起	正顧問		19	武藤 ひなた		1年・女
4	齋藤 祐子	副顧問		20	加藤 らら	副会長	1年・女
5	鈴木 恵理香		ハンドベル顧問	21	近藤 優月		1年・女
6	鳥居 洋介		情報科教員	22	矢野 陽菜		2年・男
7	池澤 遙葵		2年・女	23	本多 美結		1年・女
8	根本 乃亜	幹事	2年・女	24	戸田 奏希		1年・男
9	宇佐美 桃香		2年・女	25	伊大知 航央		1年・男
10	西村 和夏		2年・女	26	菅野 凜太郎		1年・男
11	和田 光	会長	2年・男	27	大谷 羽華音	幹事	1年・女
12	相田 里菜		2年・女	28	繪幡 風歌		1年・女
13	石井 なな美	副会長	2年・女	29	船橋 和楓		1年・女
14	石川 真衣		2年・女	30	石澤 真衣		1年・女
15	片寄 百合愛		2年・女	31	菊池 優那		1年・女
16	川崎 杏奈		2年・女				

第25回インターアクト年次大会参加者名簿（ロータリー関係）

役 職	氏 名	所属クラブ
ガバナー	大 野 治 夫	つくば学園ロータリークラブ
パストガバナー青少年奉仕担当カウンセラー	中 村 澄 夫	東海那珂ロータリークラブ
パストガバナー青少年奉仕支援アドバイザー	井 上 壽 博	水戸ロータリークラブ
パストガバナー国際奉仕担当カウンセラー	藤 居 彰 一	日立ロータリークラブ
ガバナーエレクト	大 久 保 博 之	水戸ロータリークラブ
ガバナーノミニー	大 高 司 郎	高萩ロータリークラブ
第1分区ガバナー補佐	笹 島 弥 一	日立中央ロータリークラブ
地区幹事	高 原 裕	水戸ロータリークラブ
地区会計長	小 林 保 弘	つくばシティロータリークラブ
青少年奉仕支援アドバイザー	川 上 美 智 子	水戸好文ロータリークラブ
青少年奉仕総括委員長	高 田 稔 美	つくば学園ロータリークラブ
地区ローターアクト委員長	安 圭 一	水戸ロータリークラブ
地区ローターアクト委員	黒 羽 豪	日立中央ロータリークラブ
地区ローターアクト委員	塚 越 俊 祐	つくば学園ロータリークラブ
地区インターアクト委員長	齊 藤 佳 昭	水戸ロータリークラブ
地区インターアクト委員	中 山 元 章	土浦南ロータリークラブ
地区インターアクト委員	田 中 宏 和	東海那珂ロータリークラブ
地区インターアクト委員	鯨 岡 則 雄	水戸西ロータリークラブ
地区インターアクト委員	太 田 秀 夫	日立港ロータリークラブ
地区インターアクト委員	中村 兵左衛門	しもだて紫水ロータリークラブ

第25回インターアクト年次大会参加者名簿（ロータリー関係）

所属クラブ	氏 名	役 職
水戸西ロータリークラブ	星 野 真 昌	幹事
	鯨 岡 則 雄	地区インターアクト委員
	黒 木 雅 宏	インターアクト委員長
水戸ロータリークラブ	川 名 信 博	会長
	長 野 久 嗣	幹事
	大 久 保 博 之	ガバナーエレクト
	井 上 壽 博	パストガバナー・青少年奉仕支援アドバイザー
	中 村 三 喜	青少年委員長
	山 西 裕	インターアクト委員長
	横 須 賀 靖	ロータアクト委員長
	安 圭 一	地区ローターアクト委員長
	齊 藤 佳 昭	地区インターアクト委員長
	東海那珂ロータリークラブ	橋 本 壽 郎
田 中 宏 和		地区インターアクト委員
浅 川 清 司		インターアクト委員長
土浦南ロータリークラブ	中 山 元 章	地区インターアクト委員
	楠 英 夫	会長エレクト
	和 泉 好 一	インターアクト委員長
しもだて紫水ロータリークラブ	笠 倉 勉	青少年奉仕委員長
	野 口 均	青少年奉仕副委員長
	中村 兵左衛門	地区インターアクト委員
つくばサンライズロータリークラブ	倉 本 英 子	青少年奉仕委員長
つくば学園ロータリークラブ	塚 越 俊 祐	青少年奉仕委員
日立港ロータリークラブ	五 来 美 奈	出席会場副委員長
	糸 賀 正 俊	情報広報委員長
	岩 田 秀 邦	監査
	神 山 靖 基	会報雑誌委員長
	木 村 昌 永	職業奉仕委員長
	小 泉 浩 一	会員増強委員長
	松 橋 好 徳	国際奉仕副委員長
	根 本 成 二	親睦活動委員
	太 田 秀 夫	地区インターアクト委員
	佐 藤 邦 裕	奉仕プロジェクト委員長
	佐 藤 泰 子	幹事
	島 田 洋 次	社会奉仕委員
	鋤 柄 純 忠	クラブ管理運営委員長
	鈴 木 稔	国際奉仕委員長
	鈴 木 崇 久	会長エレクト
	山 口 彰 二	出席会場委員長
	笹 尾 光	インターアクト副委員長
菅 原 光 雄	情報広報副委員長	
平 元 淳 治	会計	
額 賀 儀 秀	ロータリー財団委員長	
今 野 紀 仁	親睦活動委員長	
勝 山 起 一	社会奉仕副委員長	
宮 田 秀 昇	社会奉仕委員	
茨城県北ローターアクトクラブ	原 悠 樹	会長エレクト

年次大会感想（抜粋）

水戸女子高等学校

ハンドベルの演奏がとても素敵でした。バイオリンの音色も素敵でした。基調講演では、ウクライナについて深く知ることができました。今までニュースなどでは知ることのできなかった背景・現実について知りました。今も苦しんでいる人がいるという現実がとても辛く、もっとウクライナについて知ろうと思いました。午後の異文化理解では、様々な国について知ることができました。国によって食文化や言語が違っていて、お話を聞くのがとても楽しかったです。素敵な場所もたくさんあり、英語をもっと学びたいと思いました。様々な経験をさせていただき、ありがとうございました。

ロシアとウクライナの戦争が始まっていたのは8年前だということを初めて知りました。また、ウクライナの現在の状況を知り、私たちが知らなかった戦争の残酷さを知ることができ、改めて戦争はしてはいけないことだと思いました。また、午後からの話を聞いて、日本以外の文化を実際に知ることができ、どこもとてもきれいな国だと思いました。また、日本では普通である麺をすすることが外国では汚いと思われてしまうこともあると知ることができたので、その国その国の文化に行く前に調べてから旅行や観光をしたいと思いました。

水城高等学校

メディアで報道されるのを見て知ったつもりになっていたが、今日改めて現地のひどい有り様を見てショックを受けた。戦争が激化する前の美しい自然・建物を見て、今の日本と通じるものを感じ、それが侵されている今を思うと本当に涙が出る。日本には第二次世界大戦の敗戦国としてできることがあるだろうという意見もあり、自身の知識不足を痛感した。戦争プロパガンダについても考えさせられた。ロシアの国民も平和のために動けるはずである。午後はそれぞれの国の文化を知り、異文化を知ることは楽しく、面白いものだと再認識した。尊い国ごとの違いを自覚し、それらを楽しめるように私たちひとりひとりが行動していきたいと思った。

ウクライナに関するジャブコ・ユリヤ先生の講話を聴き、今までウクライナとロシアの間で戦争が起きていることはニュースなどから知っていたが、どれだけ悲惨で辛いものなのかを直接感じ、「平和」という世界がどれだけ大切で必要なのかを考えるよいきっかけとなった。「母国を失ったら私たちは何人ですか？」という言葉が強く残っている。午後は、たくさんの国の文化を知ることができてとても面白かった。インターネットなどで他国の情報を調べることはできるが、出身国の方からその国の説明を聞ける機会は貴重だった。世界には、日本と異なる文化がたくさんあり、その文化は様々な歴史を持っていて、それらを世界で守っていくべきだと思った。

水戸農業高等学校

ウクライナのことを元々興味があり、調べたりもしていたので、現地の方のお話が聞けるこの機会はとてもありがたかったです。様々な国のお話に関してもとても興味深く、特に言語が日本にはない発音など、とても面白かったです。

つくば国際大学東風高等学校

様々な国のことを聞くよい機会となりました。ウクライナ問題について、また深く考える機会となりました。コロナ禍という大変な状況での実施だったと思います。本当にありがとうございました。

下館工業高等学校

ウクライナ戦争のことは、ニュースや新聞でしか見たことがなかったが、実際にウクライナ人の話を聞いたので、それまで知らなかったウクライナの現状や思いを知ることができた。ウクライナとロシアの戦争は、思っていたより過酷な状況だった。今回、ウクライナ人の講演を通して、募金活動を積極的に行い、少しでも役に立てるようにしたい。また、自分たちでもやれるような活動をしていきたいと思った。貴重な体験ができてよかった。

基調講演の「ウクライナでの戦争を考える」では、ニュースなどで知る情報以外のことを知ることができました。特に、ジャブコ先生のお話を聞いていると少し話しにくそうなように感じ、ウクライナでの戦争は現実には起きていると強く感じました。また、マルタさんのスピーチでは、実際に戦争と直接関わることがあった人の話を聞いて、現実の出来事であると改めて思いました。異文化プレゼンテーションでは、自分自身が知らない国々の文化を知ることができてよかったです。他国の文化と自国の文化を比較していくと、似ているところやまったく違うところもあり、もっと知りたいと思いました。今回の活動を通して知ったこと、学んだことを今後活かしていきたいです。

茨城キリスト教学園高等学校

今回はホスト校だったので、事前準備はもちろんのこと、当日も自分の役割をこなさなければならず、慌ただしく一日が過ぎたような気がする。この年次大会にはハンドベル部の演奏や外国人講師による講演など、ホスト校の特色がちりばめられていた。他校の皆さんにも「キリストらしさ」を十分に感じてもらえたのではないかと思う。基調講演ではウクライナ出身のお二人のお話を聞き、平和の尊さを改めて感じた。また、午後のプレゼンテーションでは普段あまりなじみのない国々の方のお話を聞くことで、新しい発見や学びがあった。異文化を理解することは相手を受け入れることにつながり、それこそが平和への第一歩だと考えると、今回のテーマであった「世界平和」のために、大人でない私たちでもできることがあるのだと感じられた。最後に、今回参加してくれたインターアクターの皆さん、本当にありがとうございました。

Make Me a Channel of Your Peace

Peace Prayer of St. Francis of Assisi

Make me a channel of Your peace
Where there is hatred let me bring Your love
Where there is injury, Your pardon, Lord
And where there's doubt, true faith in You

Oh, Master, grant that I may never seek
So much to be consoled as to console
To be understood as to understand
To be loved as to love with all my soul

Make me a channel of Your peace
Where there's despair in life let me bring hope
Where there is darkness, only light
And where there's sadness, ever joy

Make me a channel of Your peace
It is in pardoning that we are pardoned
In giving to all men that we receive
And in dying that we're born to eternal life

© 1967 Sebastian Temple/OCP Publications

神よ、わたしをあなたの平和の道具として お使いください

アッシジの聖フランチェスコによる平和の祈り

神よ、わたしをあなたの平和の道具としてお使いください。
憎しみのあるところに愛を、
いさかいのあるところにゆるしを、
分裂のあるところに一致を、
疑惑のあるところに信仰を、
誤っているところに真理を、
絶望のあるところに希望を、
闇に光を、
悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。
慰められるよりは慰めることを、
理解されるよりは理解することを、
愛されるよりは愛することを、わたしが求めますように。
わたしたちは、与えるから受け、
ゆるすからゆるされ、
自分を捨てて死に、
永遠のいのちをいただくのですから。

<女子パウロ会訳>

*参考：聖歌 417 番「あなたの平和の器にしてください」

君が代

君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

いわおとなりて

こけのむすまで

インターアクトの歌

ここに集いし われらは

誇りも高し インターアクト

地域社会に 奉仕の理念

示せ今こそ そのまこと

ほほえみをもて

さしのべよ 手を

世界を結ぼう

インターアクト われら

DISTRICT 2820 INTERACT CLUB

Interact

